接着剤の選択と接着用具

良好な測定データを得るためには，ひずみゲージが被測定材に完全に接着されていることが必要です。被測定材やゲージベースの材質，および測定条件に適した接着剤を選んで使うことが大切です。

医薬用外劇物対象品 は，劇物取締法により，購入される場合は譲受書の提出が必要となります。
（医薬用外劇物対象品譲受書はホームページよりダウンロードできます。）

航空輸送禁止 は航空法の適用を受け，航空輸送が禁止されています。

接着剤型式名	タイプ	特長	硬化条件	使用温度範囲（℃）	成分	容量	主な適用材料	主な適用ゲージ
CC-33A	常温硬化型 瞬間接着剤	・常温環境下における KFG, KFR等の汎用ゲージによる一般応力測定用接着剤に適する。 ※常用温度範囲は20〜80℃ ・幅広い温度範囲で，各材料に対し硬化時間が短く安定している。 ・硬化が短いため，接着の作業性が良い。 ・接着後，約1時間で測定が可能。	・指圧（100〜300KPa）で15〜60秒。 （常温で1時間放置） 注）指圧時間は温湿度条件により変化有り。低温，低湿時は指圧時間を長くする。	−196〜120	シアノアクリレート系 1液タイプ	2g×1本入 2g×5本入	・金属（鉄，ステンレス，銅，アルミ合金，等） ※アルミ合金（A1050, A2024） ・プラスチック（アクリル，塩ビ，ナイロン，等） ・複合材料（CFRP, GFRP, プリント基板，等） ・ゴム	KFG KFGT KFR KFW KFWS KFRP KFRS KFP KFML KSP KSN（E5除く） KSPH KSPL KFL KFN KFS KFF KCH KV
CC-35	常温硬化型 瞬間接着剤	・常温環境下における木材，コンクリート等の多孔質材の一般応力測定用接着剤に適する。 ※常用温度範囲は20〜80℃ ・高粘度のため，木材やコンクリート等の多孔質材料への接着に適する。	・指圧（100〜300KPa）で30〜60秒。 （常温で1時間以上放置） 注）指圧時間は温湿度条件により変化有り。低温，低湿時は指圧時間を長くする。	−30〜120	シアノアクリレート系 1液タイプ	2g×1本入 2g×5本入	・コンクリート ・モルタル ・木材	KFG KFGT KFR KC KFRP KFP
CC-36	常温硬化型 瞬間接着剤	・常温環境下における大ひずみ測定用ゲージ（KFEM, KFEL）への接着に適する。 ※常用温度範囲は20〜80℃ ・難接着材のアルミニウム合金（A7075）やマグネシウム合金用接着剤に適する。 ・高耐剥離強度と耐衝撃性を有し，接着強度の経時変化が小さい。 ・難接着材に対しての接着力が強い。 ・硬化時間はCC-33Aよりも長い。	・指圧（100〜300KPa）で30〜60秒。 （常温で1時間以上放置） 注）指圧時間は温湿度条件により変化有り。低温，低湿時は指圧時間を長くする。	−30〜100	シアノアクリレート系 1液タイプ	2g×1本入 2g×5本入	・金属（鉄，ステンレス，銅，アルミ合金，マグネシウム合金，等） ※アルミ合金（A1050, A2024, A7075） ・プラスチック（アクリル，塩ビ，ナイロン，ポリプロピレン等） ・複合材料（CFRP, GFRP, プリント基板，等） ・プリント基板 ・コンクリート ・モルタル ・木材 ・ゴム	KFEM KFEL KFG KFGT KFR KFW KFWS KFRP KFRS KFP KFML KSP KSN（E5除く） KSPH KSPL KFF KV
EP-270	常温硬化型	・極低温域までのひずみ測定におけるゲージ接着に適する。	・加圧状態（50±20KPa）で約25℃—24時間	−269〜30	エポキシ系 2液混合タイプ 常温硬化	50g入 主剤：25g 硬化剤：25g	・金属（ステンレス，アルミ合金，等）	KFL
EP-340	常温硬化 または 加熱硬化型	・中温域までのひずみ測定におけるゲージ接着に適する。	・加圧状態（30〜50KPa）で，約25℃で24時間または，80℃で2時間 ・テープ加圧も可能	−55〜150	エポキシ系 2液混合タイプ 常温硬化	30g入 主剤：6g×4本 硬化剤：1.5g×4本	・金属（ステンレス，アルミ合金，等）	KFG KFR
EP-34B 医薬用外劇物対象品	常温硬化 または 加熱硬化型	・中温域までのひずみ測定におけるゲージ接着とセンサ用ゲージの接着に適する。	・加圧状態（30〜50KPa）で，約25℃で24時間または，80℃で2時間 ・テープ加圧も可能	−55〜200	エポキシ系 2液混合タイプ	30.8g入 主剤：5.6g×4本 硬化剤：2.1g×4本	・金属（鉄，ステンレス，銅，アルミ合金，等） ・プラスチック（アクリル，塩ビ，等） ・複合材料（CFRP, GFRP, プリント基板，等）	KFG KFGT KFR KFRP KFP KFH KFF
EP-180	常温硬化 または 加熱硬化型	・低粘度のため埋め込みタイプのボルト用ゲージ（KFG-C20）の接着に適する。	・加圧状態（50〜100KPa）で，約25℃で48時間 40℃で12時間 80℃で3時間 ・ボルト用ゲージに使用する場合は，ボルト用ゲージの取扱説明書参照	−50〜100	エポキシ系 2液混合タイプ	30g入 主剤：18g 硬化剤：12g	・金属（鉄，ステンレス，銅，アルミ合金，等） ・プラスチック（アクリル，塩ビ，等）	KFG（C20）KFW KFWS KFF
PC-600	加熱硬化型	・低温から中，高温域までのひずみ測定におけるゲージ接着とセンサ用ゲージの接着に適する。	・加圧状態（150〜300KPa）で 80℃—1時間 →130℃—2時間 →150℃—2時間	−269〜250	フェノール系 1液，加熱タイプ	100g入	・金属（鉄，ステンレス，銅，アルミ合金，等）	KFG KFR KFH KFL KFN KFS
PI-32	加熱硬化型	・高温域までのひずみ測定におけるゲージの接着に適する。	・加圧状態（200〜500KPa）で100℃—1時間 →200℃—2時間加熱 →加圧を外して測定温度で2時間加熱 ※200℃加熱が困難な場合は200℃—2時間を160℃—5時間に変更し他は同条件で行う。	−269〜350	ポリイミド系 1液，加熱タイプ	20g入	・金属（鉄，ステンレス，銅，アルミ合金，等）	KFU KFH
PC-12B 航空輸送禁止	常温硬化型	・半導体ゲージやコンクリート用ゲージ（KC, KFG）の接着に適する。	・加圧状態（30〜50KPa）で常温で2時間放置後，加圧を除去し，さらに24時間放置	−196〜250	ポリエステル系 2液混合タイプ	32g入 主剤：30g 硬化剤：2g	・金属（鉄，ステンレス，銅，アルミ合金，等） ・コンクリート ・モルタル	KFG KC KSP KSN（E5除く） KSPH KSPL
UC-26B 医薬用外劇物対象品	常温硬化型	・低温域測定において低温ゲージ（KFL）をコンクリートおよび木材に接着する場合に適する。	・加圧状態（30〜50KPa）で約25℃—24時間	−269〜50	ポリウレタン系 2液混合タイプ	40g入 主剤：30g 硬化剤：10g	・コンクリート ・モルタル ・木材	KFL
EC-30 医薬用外劇物対象品	常温硬化型	・低弾性用ゲージ（KFML）の接着に適する。	・加圧状態（30〜50KPa）で約25℃—24時間	0〜60	エポキシ系 2液混合タイプ	50g入 主剤：30g 硬化剤：20g	・金属（鉄，ステンレス，銅，アルミ合金，等） ・プラスチック（アクリル，塩ビ，ナイロン等）	KFML
EP-17	加熱硬化型	・半導体ゲージ（KSN-2-120-E5）の専用接着剤。 （硬化時の収縮が小さい）	・→130℃—2時間 →150℃—2時間	−50〜170	エポキシ系 1液，1粉末 混合タイプ	30g入	・金属（鉄，ステンレス，銅，アルミ合金，等）	KSN-2-E5
S-7	・瞬間接着剤（CC-33A）用硬化促進剤 （寒冷時等の硬化促進として適用）　容量：25g							
S-9B	・難接着材（ポリプロピレン，ポリエチレン）にゲージを瞬間接着剤で接着する場合の表面処理剤 （接着する材料の表面処理剤として適用）　容量：40g							

（注）使用温度範囲は接着剤自身のもので，ゲージとの組み合わせによりそれぞれ異なります。ご使用にあたっては，添付の取扱説明書をよくお読みの上，ご使用ください。